

平成28年度近隣景観形成協定認定地区概要

甲賀市水口町今郷区（平成29年1月6日認定 73世帯）

1. 協定の目的・内容

（目的）

- ・旧東海道沿いの風情を今に伝える町並みを中心とした景観を守る。
- ・まちづくり活動に参画することを通じて地域に対する愛着を育み、地域の美しさを末永く後世に伝える。

（内容）

- ・建築物の屋根は勾配のあるものとするなど町並みと調和したまとまりのあるものとし、外壁および垣、柵、塀、門等は町並み景観に配慮した落ち着いた色彩とする。
- ・敷地と街道の接続部にあっては外溝に配慮し、街道沿いにあるには建築物等の歴史的な意匠を尊重し、街道から見た景観のまとまりに配慮する。
- ・道路沿いの既存樹木の良好な維持管理を行い、敷地内の緑化を図る。
- ・地域の地理的・歴史的背景について理解を深め、町並み、史跡、田畑、周囲の自然等が構成する魅力的な景観づくりに協力する。
- ・地域の景観の美しさとその背景について世代間で共有するよう努め、案内板等の設置により来訪者にとって魅力的な地域づくりに協力する。

2. 活動内容

旧東海道の街道整備を中心目標として掲げ、①街道沿いや史跡周辺の環境を整備する活動、②大学等専門家と連携し地域の地理的・歴史的背景について理解を深め活かす活動、③住民同士の交流を図る活動に取り組んでいる。

例) ①花火鉢設置による美化運動、一里塚や史跡の周辺整備、史跡名所案内看板の設置

②史跡名所の調査研究、地域ブランド農産物栽培（水口かんぴょう、蕎麦）、岩上ふるさと絵屏風

作成、気仙沼鹿折ひまわりを旧東海道に咲かせる活動、市民グループによる中世城館跡の整備活動

③水口かんぴょうを使った種々のイベント、敬老祝賀会、保育園保護者会イベント、新春もちつきと蕎麦打ち大会、浄土寺イベント（そうめん流しと音楽祭）

3. 地区の沿革

甲賀市水口市街地より約4kmに位置し、野洲川河岸段丘に沿って国道1号、旧国道1号、旧東海道などの主要幹線道路が区内を走る。東西約1.7kmの直線的な街道集落構造をもち、旧東海道沿いの風情ある町並み景観を現在に伝えている。集落北部は圃場整備水田や里山が広がり、農村景観がみられる。江戸時代の東海道分間延絵図に描かれた史跡名所や寺院等が残る歴史ある集落である。



○旧東海道沿道の町並み景観



多くの歴史的偉人や有名人も通った旧東海道



旧家の佇まい

○住民や来訪者が集うお休み処



自販機のある休憩所「郷の里」



多くの街道見学者



夏休み「かんぴょう作り体験教室」を開催



街道見学者のメッセージボード

○街道沿いや史跡周辺の整備活動



江戸から112里目の一里塚（周辺整備実施）



火鉢に花を植える活動（花苗の各戸配布の様子）



手作りの道案内看板設置とポケットパークの植栽 掲示内容が変更可能な総合案内看板の設置

○地域の地理的・歴史的背景について理解を深め活かす



平成26年発見の今在家城趾の調査と整備活動



安土城考古博物館による見学会（平成28年）



小鳥の巣箱と案内看板設置（平成28年）



今郷区とこなんの森・薪割りくらぶによる
里山保全活動イベント共同開催（平成25年より）



歌川広重の東海道五十三次でも描かれている
名物水口かんぴょうの再興（平成25年より）



夏の風物詩（かんぴょうの天日干し）
水口かんぴょうの特徴は“甘くて柔らかい”



今郷の100名を超える人々の心に残る風景を絵
にした岩上ふるさと絵屏風の作成（平成27年）



気仙沼鹿折ひまわりを東海道に咲かせる活動
平成25年からスタートし現在も継続中

○住民同士の交流を図る様々なイベント



5m干瓢巻き作りに参加（岩上地区文化祭）



今郷区敬老祝賀会を開催（能楽・太鼓・コーヒー教室）



岩上保育園参観日の「園児たちのふるさと絵図」
つくりに参加



毎年恒例の新春もちつき・蕎麦打ち大会



毎年恒例の浄土寺における10mの流しそうめんと
住民自作の能舞台での音楽会

○後世に伝えたい地元の伝統行事



今郷区と巖峨区の氏子青年による
八坂神社の神輿の野洲川渡し（巖峨-今郷間を運行）



春と秋の大祭
岩上不動尊の護摩供養



五穀豊穡を願う山の神の神事



○水田や里山の農村景観



自然豊かな里山（鴨長明の歌にも詠まれた布引山）



1区画で1.5ヘクタールを超える大区画整備田